

- 冒頭のディスカッションの時間にGW企画の振り返りを提案していただいた。ここでこういう振り返りをしましょう、という考えが私は恥ずかしながら浮かばないので、ああそういうことを話し合う時間でもあるよねというのと同時に企画して大変ありがたく思った。このお題を提案するやつ、ネタ提供が苦手だなあ。個人的な課題点として。

GW企画の振り返りとして、1番骨が折れたのは最終的に納得するまで質問を繰り返すものだった。私も一問一答になってしまいがちな部分があつたし、どういう意図を持って質問をしているかがわかりにくい、私も伝えられていない状態が結構あって、課題点のままだった。個人的には、前からの課題だけれども具体的な例を挙げて説明するのが上手くないとか、具体的に説明したつもりだけれどもまだ抽象的すぎる、が課題として考えられた。**言わなくてもわかるでしょ、が人によって違うことはわかっていてもじゃあその当たり前をどのようにわかつてもらえるように伝えるか、理解するか、その問題はまだ解消できていない。50:50になるように努力をしているつもりだけれども、まだまだだなあと感じた。あとは感情を文章にするスピードとともに全然足りない。**

1つ目については「母親のようになりたくない」あまり「母親と同じ選択をしないこと」が第一優先になっていないか？という質問をしたのですが、それに対するセッションでした。たまたま4月末くらいに別で似たような話題に遭遇していた、というのが質問をした理由です。自分の中では結果的に同じ選択をしてもいいんじゃないかなあ、でも地域的な問題であまり選択肢に上がらないのかなあみたいな話で、もし実際にやるとしたらお子さんがそれなりにやる気を見せないと大変そ

うと思い、いくつかコメントをしました。感想戦で陽子さんが追加でコメントをくださり、確かにそういえばそうだったわね、という気分になりました。個人の事情をより思い出せるとさらにいい感じにできたのかな、と思いました。

2つ目については父親に対する美化がある一方、母親については思わない、という話があった。やっぱり娘って父親をどこかで若干神格化するんですかね、私も少しその気があるなあと思いながら聞いていた。ただ、その後陽子さんが突っ込んでいく中で、クライアントがお母さんに対して「一度も美化したことがない」と言っていたことに違和感を覚えたのだが、話を聞くとそういうふうにおっしゃる理由もわかるような気がした。

今月ありがとうございました。

(30代女性 千葉県)